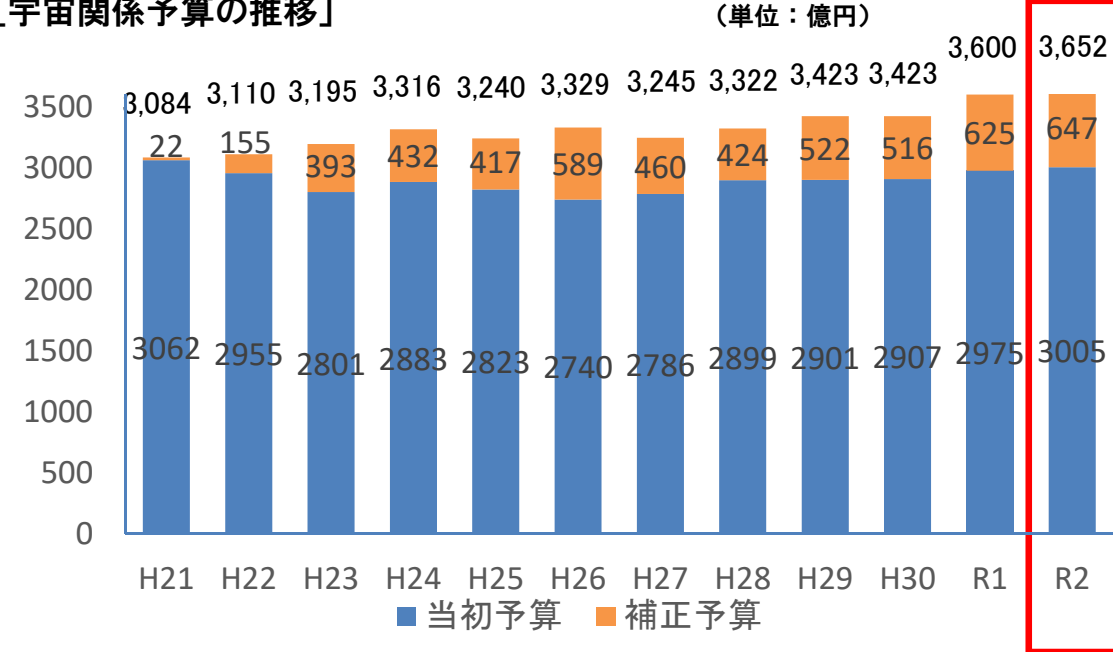


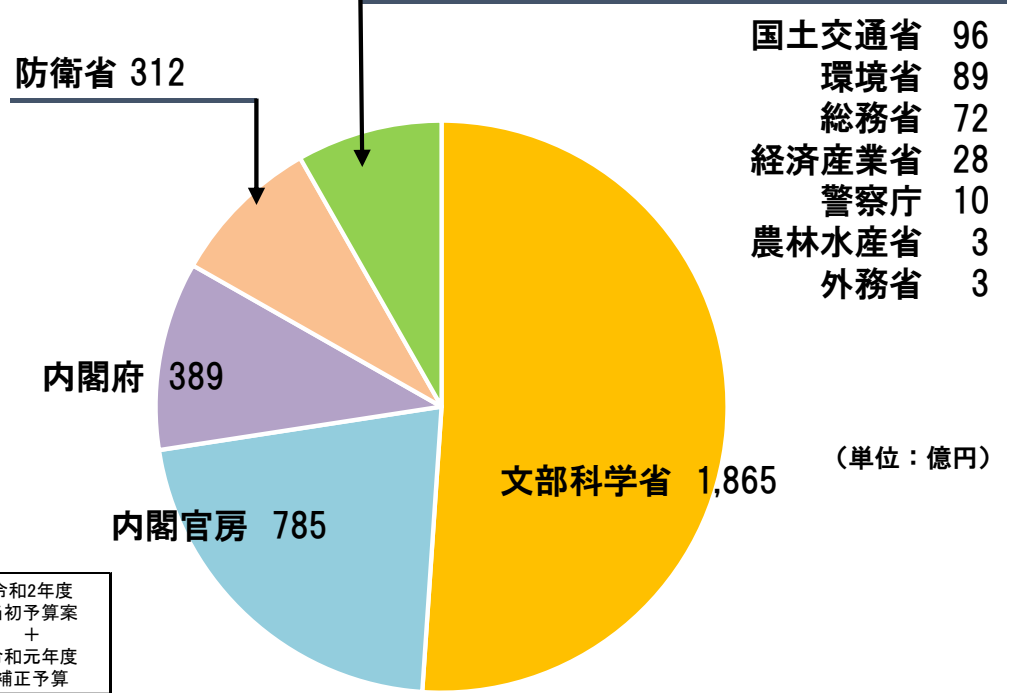
令和2年度当初予算案および令和元年度補正予算における宇宙開発利用関係予算

令和2年度当初予算案	3,005億円	(前年度比	30億円増(1.0%増))
令和元年度補正予算	647億円		
当初+補正 合計	3,652億円	(前年度比	52億円増(1.4%増))

[宇宙関係予算の推移]



[省庁別内訳]



[内訳]

府省名	令和元年度当初予算額	令和2年度当初予算案	対前年度増▲減	(増▲減比)	令和元年度補正予算	令和2年度当初予算案 + 令和元年度補正予算
内閣官房	621	625	5	(0.7%)	160	785
内閣府	272	277	5	(1.8%)	111	389
警察庁	9	10	1	(7.1%)		10
総務省	78	72	▲5	(▲7.0%)		72
外務省	2	3	0	(7.2%)		3
文部科学省	1,527	1,544	17	(1.1%)	321	1,865
農林水産省	3	3	0	(2.8%)		3
経済産業省	26	28	2	(6.3%)		28
国土交通省	55	96	41	(73.9%)		96
環境省	33	36	3	(8.7%)	53	89
防衛省	348	311	▲37	(▲10.6%)	1	312
合計	2,975	3,005	30	(1.0%)	647	3,652

四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。
財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算。

令和2年度当初予算案（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,005億円

(単位: 百万円)

【内閣官房】	62,532	(+457)	【農林水産省】	309	(+8)
○情報収集衛星関係経費	62,532	(+457)	○農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	29	(▲6)
【内閣府】	27,744	(+496)	○衛星船位測定送信機(VMS)の運用	280	(+14)
○準天頂衛星システムの開発・整備・運用	26,735	(+482)	【経済産業省】	2,810	(+167)
○宇宙利用拡大の調査研究	430	(+1)	○政府衛星データのオープン&フリー化及びデータ利用環境整備・データ利用促進事業費	1,300	(+149)
○中央防災無線網の整備・維持管理等	129	(+1)	○宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業(SERVISプロジェクト)	510	(+113)
○科学イノベーション創造推進費	55,500の内数	—	○準天頂衛星システムを利用したドローンの高密度で安全な運用技術の開発・実証	4,000の内数	—
【警察庁】	992	(+66)	○石油資源を遠隔探知するためのハイパースペクトルセンサの研究開発事業費	750	(▲95)
○高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星の使用等	992	(+66)	○宇宙太陽光発電における無線送受電技術の高効率化に向けた研究開発事業委託費	250	(+0)
【総務省】	7,210	(▲545)	【国土交通省】	9,588	(+4,074)
○多様なユースケースに対応するためのKa帯衛星の制御に関する研究開発	10,345の内数	—	○静止気象衛星業務等	3,012	(▲75)
○衛星通信における量子暗号技術の研究開発	340	(▲16)	○地理空間情報の流通・利用促進の検討	84	(新規)
○電波伝搬の観測・分析等の推進のうち宇宙天気予報業務に必要な経費	1,498の内数	—	○人工衛星の測量分野への利活用	2,004	(+1,006)
○地域衛星通信ネットワークの利用等	19	(+0)	○海洋状況表示システムの機能強化/海洋監視体制の構築	635	(▲14)
【外務省】	266	(+18)	○準天頂衛星を利用したSBAS性能向上	3,693	(新規)
○衛星画像判読分析支援	230	(▲1)	○ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進に向けた取組の推進	47	(▲35)
○戦略的宇宙外交の推進	36	(+19)	【環境省】	3,584	(+287)
【文部科学省】	154,404	(+1,694)	○GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	2,180	(+205)
○H3ロケット	18,054	(▲4,695)	○衛星による地球環境観測経費	1,232	(+84)
○ロケット再使用に向けた飛行実験(CALLISTO)	100	(新規)	【防衛省】	31,080	(▲3,683)
○先進光学衛星(ALOS-3)/先進レーダ衛星(ALOS-4)	14,016	(+12,393)	○宇宙空間の安定的利用を確保するための能力	2,908	(+20)
○温室効果ガス・水循環観測技術衛星(GOSAT-GW)	300	(+150)	○衛星通信の利用	16,582	(▲2,068)
○宇宙状況把握(SSA)システム	1,857	(+1,133)	○画像衛星データ等の利用	10,072	(▲638)
○デブリ除去技術の実証ミッションの開発	800	(+497)			
○国際宇宙探査(ゲートウェイ構想等)に向けた研究開発等	7,006	(+1,234)			
うち、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)	5,552	(+1,742)			
月周回有人拠点	195	(新規)			
○火星衛星探査計画(MMX)	2,600	(+1,000)			
○X線分光撮像衛星(XRISM)	3,815	(+64)			

()内は対前年度当初予算比+増▲減。

内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。

財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算。

令和元年度補正予算（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 647億円

(単位: 百万円)

【内閣官房】	15,970	【農林水産省】	—
○ 情報収集衛星関係経費	15,970	○ スマート農業技術の開発・実証プロジェクト	7,150の内数
【内閣府】	11,149	【経済産業省】	—
○ 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	11,126	○ 停電復旧見通しの精緻化・情報共有システム等整備事業	590の内数
○ 中央防災無線網の整備・維持管理等	23		
【文部科学省】	32,132	【環境省】	5,310
○ H3ロケット	14,100	○ GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	5,000
○ 先進光学衛星(ALOS-3)/先進レーダ衛星(ALOS-4)	3,094	○ 衛星による地球環境観測経費	310
○ 宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	2,791	【防衛省】	127
○ 国際宇宙探査(ゲートウェイ構想等)に向けた研究開発等	5,008	○ Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	127
うち、新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)	1,900		
月周回有人拠点	965		
○ H3ロケットの射場整備等の施設整備費	6,678		
○ 地球環境情報プラットフォーム構築推進プログラム	460		

内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。